

インスリン自己注射の手技指導

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、薬剤の使用状況を確認することで自己注射手技の改善に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

Gさん

・MRSA 中耳炎に対して加療目的で入院した患者

【処方】 ノボラピッド®注フレックスタッチ 1日3回 毎食直前
トレシーバ®注フレックスタッチ 1日1回 眠前



こんにちは。
現在使われているお薬を確認に来ました。



薬剤師

糖尿があるからインスリンの注射を使っています。
ご飯の前と寝る前よ。



そうですか。インスリンの注射はどうですか？
問題なく使えていますか？



大丈夫ですよ。
液が入ったかどうか不安だから何回かボタンを押してから抜くようにしてるのよ。



そうなんですか！それはあまりよくないですね。
針を皮膚に刺したまま注入ボタンを連打すると、血液が注射筒の中に逆流して不潔になることがあります。



え、、、そうなのね。
念のためと思って押してたわ。

そうでしたか。
今度、インスリン自己注射をするときの注意事項を一緒に確認しましょうね。



その後、改めて服薬指導を行い、Gさんの操作手技は改善された。患者の薬剤の使用状況を確認することで、安全な薬剤の使用と治療効果の向上に貢献できた。

